

システムコンテナの確認方法

最初に、F70/F71をお使いの場合はV01.05以降に、F220/F221をお使いの場合はV01.07以降に、それぞれファームウェアをバージョンアップしてください。

以下の方法により、お使いの装置のシステムコンテナが旧OS/Alpine Linuxのどちらかご確認いただけます。旧OSの場合は手順1で削除されます。

手順	確認内容	画面表示例
1	container enableを設定します。	<pre>configure terminal (config)#container enable (config)#end #refresh refresh ok?[y/N]:yes Done #</pre>
2	<p>show container listを実行してください。コンテナのサマリ情報が表示される場合は、Alpine Linuxがインストールされているので、このままお使いください。</p> <p>コンテナのサマリ情報が表示されない場合は、旧OSのため、コンテナおよびコンテナイメージが削除されました。以下の「システムコンテナのインストール方法」に進んでください。</p>	<pre>/// サマリ情報が表示される場合：Alpine Linuxがインストールされています /// #show container list +-----+-----+-----+-----+-----+-----+ NAME BASE IMAGE IMAGE VERSION STATE IPV4 IPV6 +-----+-----+-----+-----+-----+-----+ container b5302aae70 3.13 20210127_15:00 RUNNING +-----+-----+-----+-----+-----+-----+ # /// サマリ情報が表示されない場合： コンテナおよびコンテナイメージが削除されました /// #show container list +-----+-----+-----+-----+-----+-----+ NAME BASE IMAGE IMAGE VERSION STATE IPV4 IPV6 +-----+-----+-----+-----+-----+-----+ # #show container image list +-----+-----+-----+-----+-----+-----+ ALIAS DESCRIPTION ARCH SIZE UPLOAD DATE +-----+-----+-----+-----+-----+-----+ #</pre>

システムコンテナのインストール方法

以下の方法により、お使いの装置のシステムコンテナをインストール可能です。システムコンテナ(コンテナおよびコンテナイメージ)の無い状態では、本手順を実行してください。

手順	確認内容	画面表示例
1	イメージファイルをFITELnet装置の /drive等にダウンロードした後、container image importを実行します。	<pre>既にコンテナイメージがインストールされている場合はエラーしますので、container image deleteコマンドで削除を行ってから、container image importを実行してください。 #container image import /drive/alpine-3.13-arm64-202109131500.img image import ok?[y/N]:yes done. #</pre>
2	show container image listを実行して、コンテナイメージがインストールされていることを確認します。	<pre>#show container image list +-----+-----+-----+-----+-----+-----+ ALIAS DESCRIPTION ARCH SIZE UPLOAD DATE +-----+-----+-----+-----+-----+-----+ default Alpinelinux 3.13 aarch64 (20210124_13:00) aarch64 85.30MB Feb 23, 2022 at 1:15am (UTC) +-----+-----+-----+-----+-----+-----+ #</pre>
3	装置再起動後、container enableを設定します。	<pre>装置再起動 #reset reset ok?[y/N]:y 装置再起動後にcontainer enableを設定（コンテナイメージからコンテナが作成されます）。 configure terminal (config)#container enable (config)#end #refresh refresh ok?[y/N]:yes Done #</pre>
4	show container listを実行して、コンテナのSTATEがRUNNINGになっていることを確認します。	<pre>#show container list +-----+-----+-----+-----+-----+-----+ NAME BASE IMAGE IMAGE VERSION STATE IPV4 IPV6 +-----+-----+-----+-----+-----+-----+ container c79720b40c 3.13 20210913_15:00 RUNNING +-----+-----+-----+-----+-----+-----+ #</pre>

コンテナの変更方法

以下の方法により、お使いの装置のコンテナを変更可能です。

手順	確認内容	画面表示例
1	container stop moffを実行してコンテナを停止させます。	#container stop moff
2	show container listを実行して、コンテナのSTATEがSTOPPEDになっていることを確認します。	#show container list +-----+ NAME BASE IMAGE IMAGE VERSION STATE IPV4 IPV6 +-----+ container b5302aae70 3.13 20210127_15:00 STOPPED +-----+ #
3	イメージファイルをFITELnet装置の/drive等にダウンロードした後、container restoreを実行して、コンテナの変更を行います。	注意：container restoreコマンドを実行すると、今まで使用していたコンテナは削除されます。必要に応じてcontainer backupを実行して、イメージファイルとして保存するようにしてください。 #container restore /drive/alpine-3.13-arm64-202109131500.img
4	show container listを実行して、変更したコンテナのSTATEがRUNNINGになっていることを確認します。	#show container list +-----+ NAME BASE IMAGE IMAGE VERSION STATE IPV4 IPV6 +-----+ container c79720b40c 3.13 20210913_15:00 RUNNING +-----+ #